

毎週の市場 レポート

FBS

2021年04月12日

この週に注目

■ポンドドル

ロックダウン(都市封鎖)緩和による景気回復期待の高まりを背景としたポンド買いは一巡したが、引き続きポンドの下支えとなっている。ポンドの一段の上昇につながりそうな材料は乏しく、ワクチン接種の進展スピードが鈍化、あるいは感染の再拡大などのマイナス材料が出るようであれば、景気回復期待が剥落し、ポンドに再び売り圧力が強まる可能性がある。

■カナダドル

年央にかけて底堅さを維持すると見込まれるも、足もとでは加国内でコロナ感染第3波に直面していることや、原油相場の上昇が一段落していることで、上値の重い動きとなりそうだ。また、ワクチン接種は米国よりも遅く、現在のところ人口の3%弱の接種にとどまっている。カナダ中銀(BOC)は4月の会合でテーパリング(量的緩和縮小)の日程を明らかにするとの観測が高まっているが、ワクチン進展が鈍く、防疫策再強化への懸念も後退していないことで、BOCによる早期緩和縮小期待も後退しそうだ。日足では移動平均線のSMA200で上値を抑えられ下落したことで今週は0.9220\$付近のサポート付近での攻防が予想される。

最新ニュース

■先週のものNY株式市場でダウ平均は小幅に続伸。一方、IT・ハイテク株は売られており、ナスダックはマイナス圏で推移している。この日発表になった中国の生産者物価指数が世界的なインフレ懸念を高めたことで、長期金利が上昇しており、株式市場では銀行株が買われている。来週に大手銀の1-3月期の決算が発表されるが、良好な内容が見込まれている。ただ、全体的には様子見の雰囲気も強く、来週から始まる決算を待ちたい雰囲気も出ている。決算については期待が高まっており、S&P500企業の純利益は約25%の増益が見込まれているようだ。米株は最高値を再び更新してきているが、今回の決算がそれを裏付ける内容になることが期待されている。

NY株式9日 (NY時間11:33)

ダウ平均 33585.58 (+82.01 +0.25%)

ナスダック 13810.84 (-18.47 -0.13%)

CME日経平均先物 29855 (大証終比: +185 +0.62%)

【恐怖指数】

【恐怖指数】VIXスポット (NY時間: 16:11)

スポット 16.81 (-0.14 -0.83%)

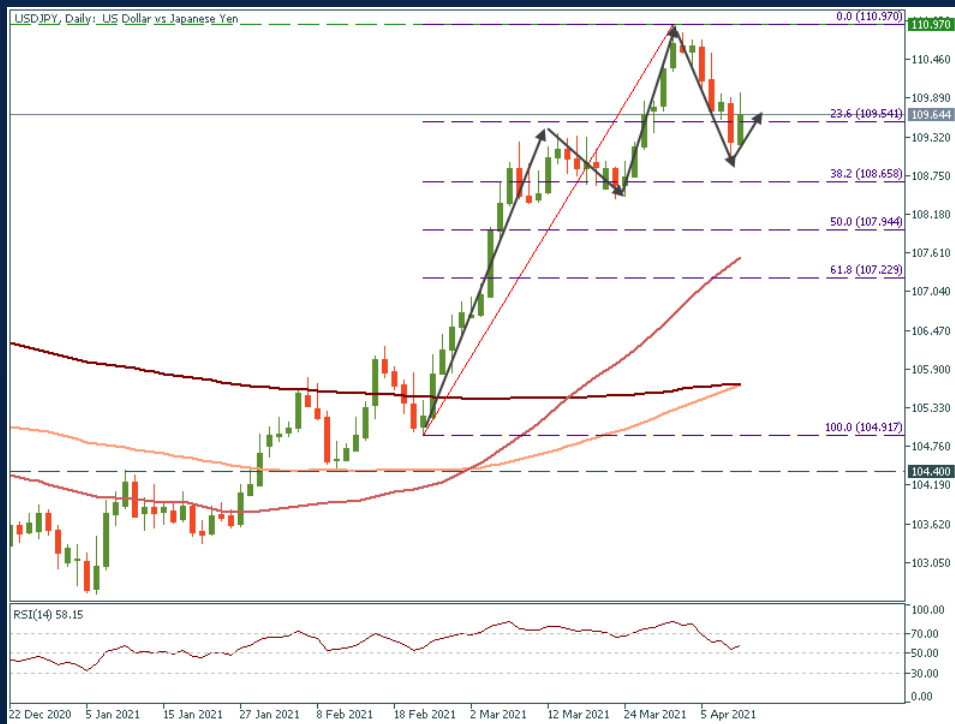
USD/JPY

長期間トレンド

短期間トレンド

抵抗線: 111.00円、111.50円

支持線: 108.80円、108.40円



先週は一時、109円まで下落したが米長期金利の上昇に伴うドル買いの流れが継続すると、前日の高値109.90円を上抜けて一時109.96円まで上値を伸ばした。ただ、節目の110.00円に接近した場面では戻り売りなどが出たため、その後は上値を切り下げる展開。週末の終値で109円半ばまで戻したことで今週、109円台で下値が支えられた場合、再び、上値を試す動きとなるだろう。

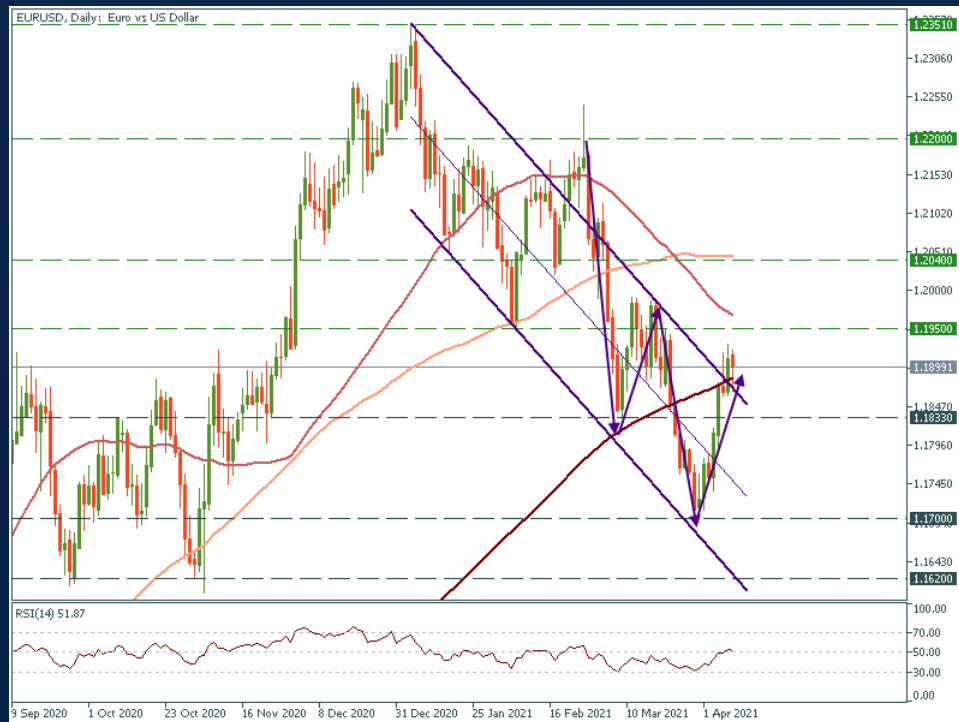
EUR/USD

長期間トレンド

短期間トレンド

抵抗線: 1.1950、1.2000

支持線: 1.8330、1.1700



先週は1.1867\$を安値に1.1910ドル近辺まで買い戻しが進んだが、米長期金利が再び上げ幅を拡大する動きとなり、1.19ドル近辺に押し戻されたが底堅い動きをした。下降型チャンネルラインの上限、移動平均線のSMA200も上抜けたことで今週は上値を試す動きとなる可能性があるが1.1950\$付近には抵抗があることから簡単には上抜けは出来ないだろう。

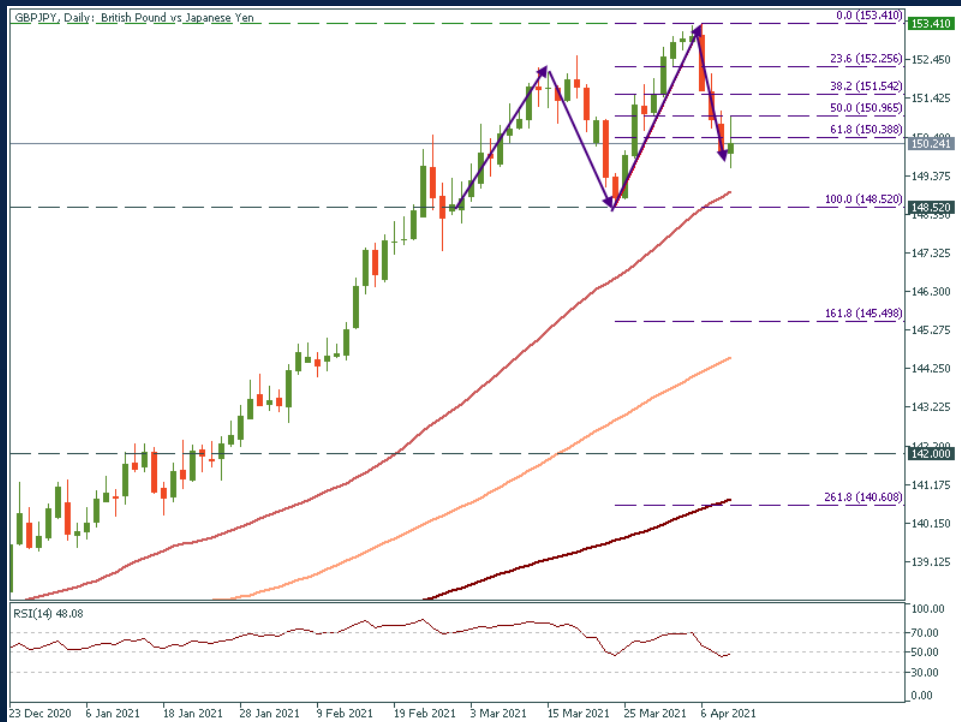
GBP/JPY

長期間トレンド

短期間トレンド

抵抗線: 153.41円、154.00円

支持線: 150.00円、148.50円



先週は153.41円の高値から3日間続落し一時、149.58円まで下げたが米債金利が上昇から低下に転じており、全般ドル安が対ドルでのポンド反発につながったことで反発した。週末の終値では150円台を維持出来たことで今週は151円台に乗せることが出来るか否かが注目されます。150円半ば手前にはフィボナッチ比率の61.8%となることからテクニカル的には反発する可能性がある。

XAU/USD

長期間トレンド

短期間トレンド

抵抗線: 1760、1790

支持線: 1676、1600



先週、ドル建てで取引される金は割安感から買われた。また、米連邦準備制度理事会 (FRB) の議事要旨を受けて金融緩和政策長期化の見方が広がり、金利を生まない資産である金の上げ材料となったがドルの上昇などを背景に上値を抑えられたことで下降型チャンネルラインの上限で押し戻されている。今週再び、チャンネルラインの中で推移するのであれば下値を試す動きとなるだろう。

経済カレンダー

時間	通貨	イベント	前回	予測
04/13 15:00	GBP	(英) 2月 月次国内総生産 (GDP) [前月比]	-2.9%	---
04/14 11:00	NZD	ニュージーランド準備銀行 (RBNZ、NZ中央銀行) 政策金利	0.25%	----
04/14 25:00	USD	パウエル米連邦準備理事会 (FED) 議長、発言	N/A	N/A]
04/16 11:00	CNY	1-3月期 四半期国内総生産 (GDP) [前期比]	2.6%	0.5%



開示/免責事項

文書は一般的な情報のためのみに使用され、紹介、依頼、購入の勧誘、セキュリティ、投資、サービス、資金誘引、入金のためではございません。この文書の情報はその目的や財政状況、特定の投資家の需要を考慮せずに、用意されています。したがって、この文書で言及されている投資銘柄は全ての投資家に適応するものではないかもしれません。投資を考えている全ての人々は、適合性に関する独立した助言を求めるべきです。あるいは、特定の投資についての助言を求めるべきです。投資を行う前に、投資家は提供されている投資の資料を手に入れるべきです。そこにはリスクに関する説明、手数料および経費、実績が記載されています。投資の決定を行う際に有益でしょう。投資家は投資に関するリスクを注意深く考慮し、投資家自身の環境に基づいた決定をするべきです。投資目的に一貫する投資を心がけましょう。